

## <腫瘍マーカー>

☑	検査項目	検査内容
	CEA	便ヘモグロビン2回法と同様、大腸がんや、肺がんの一部のスクリーニングで用いられる血液検査です。がん治療後の経過観察、再発や転移の早期発見にも有用です。
	CA19-9	膵臓がん以外にも、消化器系・肝臓がん・胆嚢がん・乳がんなどでも高くなる場合がありますので、腹部CT検査と合わせて受けることをお勧めします。
	CA125	卵巣がん、子宮がんにて異質な反応を示す腫瘍マーカーで、婦人科系疾患、とくに卵巣がんの検査として用いられています。卵巣がんのスクリーニングとしてお勧めします。
	PSA	前立腺がんが疑われるとき、まず行われるスクリーニング検査です。前立腺がんは近年増加傾向にあり、50歳以上の男性にお勧めします。
	CYFRA	肺がん、特に頻度の高い扁平上皮がんの診断の補助に使われる検査です。特に喫煙歴のある方は、レントゲンや喀痰検査と合わせて受けることをお勧めします。
	ProGRP	肺がん、特に最も予後の悪い小細胞がん診断の補助に使われる検査です。特に喫煙歴のある方は、レントゲンや喀痰検査と合わせて受けることをお勧めします。
	SCC	食道がんや肺の扁平上皮がん、子宮がんの一部のスクリーニング検査です。他の項目との組み合わせでの検査をお勧めします。
	DUPAN-2	発見されにくい膵臓がんや胆嚢・胆管がんで高い陽性率を示します。他の消化器系のがんでは上がりにくいことも特徴で、組み合わせでの検査をお勧めします。
	AFP	胎児の血清中にみられるタンパクの一種で、出生後は消失しますが肝臓がんになると増加します。慢性肝障害のある方やウイルス性肝炎にかかったことのある方にお勧めします。
	PIVKA-II	肝臓がんの際に上昇するマーカーです。肝硬変での陽性率が低いことも特徴ですので、もともと肝臓が悪い方の経過観察にお勧めです。

### 腫瘍マーカー料金※

1項目：¥2500 2項目：¥4600 3項目：¥6500 4項目：¥8200 5項目：¥9700 6項目：¥11000 7項目：¥12100 8項目：¥13100 9項目：14100 10項目：¥15000

※腫瘍マーカーを複数検査する場合は、下記のセットを参考にしてお選びください。

肺がんセット	CEA CYFRA ProGRP
食道がんセット	CEA SCC
胃がんセット	CEA CA19-9 ペプシノゲン
大腸がんセット	CEA CA19-9
肝臓がんセット	AFP PIVKA-II
膵臓がんセット	CEA CA19-9 DUPAN-2
女性がんセット	CEA CA19-9 CA125
男性がんセット	CEA CA19-9 PSA